

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和1年5月16日(2019.5.16)

【公表番号】特表2018-511644(P2018-511644A)

【公表日】平成30年4月26日(2018.4.26)

【年通号数】公開・登録公報2018-016

【出願番号】特願2017-554452(P2017-554452)

【国際特許分類】

A 61 K 8/19 (2006.01)
A 61 K 8/27 (2006.01)
A 61 Q 11/00 (2006.01)
A 61 K 8/20 (2006.01)
A 61 K 8/23 (2006.01)
A 61 K 8/24 (2006.01)
A 61 K 8/49 (2006.01)
A 61 K 8/365 (2006.01)
A 61 K 8/36 (2006.01)
A 61 K 8/362 (2006.01)
A 61 K 8/90 (2006.01)
A 61 K 8/86 (2006.01)
A 61 K 8/84 (2006.01)
A 61 K 8/81 (2006.01)
A 61 K 8/73 (2006.01)
A 61 P 1/02 (2006.01)
A 61 P 43/00 (2006.01)
A 61 K 33/34 (2006.01)
A 61 K 33/30 (2006.01)
A 61 K 31/555 (2006.01)
A 61 K 31/77 (2006.01)
A 61 K 31/787 (2006.01)
A 61 K 31/79 (2006.01)
A 61 K 31/717 (2006.01)
A 61 K 33/16 (2006.01)
A 61 K 33/42 (2006.01)
A 61 K 33/24 (2019.01)
A 61 K 31/4166 (2006.01)
A 61 K 31/4415 (2006.01)
A 61 K 31/355 (2006.01)
A 61 K 33/06 (2006.01)
A 61 K 33/10 (2006.01)
A 61 K 33/08 (2006.01)
A 61 K 33/18 (2006.01)
A 61 K 31/30 (2006.01)
A 61 K 31/315 (2006.01)
A 61 K 31/155 (2006.01)
A 61 K 31/197 (2006.01)
A 61 K 31/194 (2006.01)
A 61 K 31/20 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K	8/19
A 6 1 K	8/27
A 6 1 Q	11/00
A 6 1 K	8/20
A 6 1 K	8/23
A 6 1 K	8/24
A 6 1 K	8/49
A 6 1 K	8/365
A 6 1 K	8/36
A 6 1 K	8/362
A 6 1 K	8/90
A 6 1 K	8/86
A 6 1 K	8/84
A 6 1 K	8/81
A 6 1 K	8/73
A 6 1 P	1/02
A 6 1 P	43/00
	1 2 1
A 6 1 K	33/34
A 6 1 K	33/30
A 6 1 K	31/555
A 6 1 K	31/77
A 6 1 K	31/787
A 6 1 K	31/79
A 6 1 K	31/717
A 6 1 K	33/16
A 6 1 K	33/42
A 6 1 K	33/24
A 6 1 K	31/4166
A 6 1 K	31/4415
A 6 1 K	31/355
A 6 1 K	33/06
A 6 1 K	33/10
A 6 1 K	33/08
A 6 1 K	33/18
A 6 1 K	31/30
A 6 1 K	31/315
A 6 1 K	31/155
A 6 1 K	31/197
A 6 1 K	31/194
A 6 1 K	31/20

【手続補正書】

【提出日】平成31年4月1日(2019.4.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

i) ジカルボン酸またはその塩；及び

ii) 部分溶解性カルシウム塩

を有効成分として含む、しみ歯防止または緩和用口腔用組成物。

【請求項 2】

前記組成物は、リン酸塩を有効成分としてさらに含むことを特徴とする、請求項1に記載の組成物。

【請求項 3】

前記ジカルボン酸は、炭素数2～9のジカルボン酸であることを特徴とする請求項1に記載の組成物。

【請求項 4】

前記ジカルボン酸は、シュウ酸、マロン酸、コハク酸、グルタル酸、アジピン酸、ピメリン酸、スペリン酸、アゼライン酸またはこれらの混合物であることを特徴とする請求項1に記載の組成物。

【請求項 5】

前記カルシウム塩は、溶解度積定数(K_{s_p})が $10^{-5} \sim 10^{-20}$ のカルシウム塩であることを特徴とする請求項1に記載の組成物。

【請求項 6】

前記カルシウム塩は、炭酸カルシウム、リン酸水素カルシウム、亜硫酸カルシウム、硫酸カルシウム、フッ化カルシウム、水酸化カルシウム、ヨウ素酸カルシウムまたはこれらの混合物であることを特徴とする、請求項1に記載の組成物。

【請求項 7】

前記カルシウム塩は、組成物の総重量の1～50重量%であることを特徴とする、請求項1に記載の組成物。

【請求項 8】

前記リン酸塩は、リン酸一ナトリウム、リン酸二ナトリウム、リン酸三ナトリウム、リン酸一カリウム、リン酸二カリウム、リン酸三カリウムまたはこれらの混合物であることを特徴とする、請求項2に記載の組成物。

【請求項 9】

前記リン酸塩は、組成物の総重量の0.01～10重量%であることを特徴とする請求項2に記載の組成物。

【請求項 10】

i) ジカルボン酸またはその塩とii) 部分溶解性カルシウム塩との重量比が1：5～50(ジカルボン酸またはその塩：部分溶解性カルシウム塩)であることを特徴とする、請求項1に記載の組成物。

【請求項 11】

i) ジカルボン酸またはその塩と、ii) 部分溶解性カルシウム塩と、iii) リン酸塩との重量比が1：5～50：1～30(ジカルボン酸またはその塩：部分溶解性カルシウム塩：リン酸塩)であることを特徴とする、請求項2に記載の組成物。